

研究会レポート

北方海域技術研究会（北海道技術士センター）

創刊 100 号おめでとうございます！ 次の通過点に向け、新たな気持ちで情報を発信していきます。

今回は、昨年度末の「2002 年度第 2 回定例会」、「2003 年度総会および講演会」、「第 1 回定例会（予告）」について報告します。

1. 2002 年度第 2 回定例会

第 2 回定例会は、「海外の海岸・水産事情あれこれ」と題した講演会を、2003 年 2 月 4 日（火）札幌後楽園ホテルにて開催しました。講演者は、道内在住で海外赴任経験者 4 名と、韓国 KRISO から招いた Dr. Yang 氏の計 5 名です（表－1 参照）。

講演会には、年度末の忙しい時期の開催にもかかわらず、52 名の参加がありました。日本の講師の方々からは、実体験に基づいた貴重な経験談や、海外での仕事の難しさを、実体験をもとにお話いただき大変好評でした。また Dr. Yang 氏は、日本語で書かれたレポートを持参し、流暢な日本語で講演されました。内容・日本語ともに素晴らしく、参加者には、「我々もせめて英語くらいは……」と感じた方もいらっしやったようです。

講演会は 3 時間の予定でしたが、講演者の海外経験が豊富なためかつい時間を超過し、十分な質疑の時間を取ることができないほどでした。また、会場も押していたこともあり、後半はせっかくの講演を



写真－1 会場の様子

表－1 第 2 回定例会 講師および演題

モーリタニア・イスラム共和国の漁港事情 北日本港湾コンサルタント(株) 部長 大塚夏彦 氏
インドネシア共和国の漁港事情 留萌開発建設部留萌港湾建設事務所 課長 北原繁志 氏
ロシア連邦サハリン州の港湾事情 五洋建設(株)札幌支店 課長 金子潤一 氏
ペルー共和国の水産事情 エコニクス(株) 技術顧問 川村一廣 氏
特別講演「韓国の人工魚礁の現状と将来」 Korea Research Institute of Ship & Ocean Engineering, KORDI Senior Research Engineer Dr. Chan Kyu Yang 氏



写真－2 Dr. Yang 氏

途中で切り上げて頂くこともあり、幹事一同反省しています。

2. 年度総会および講演会について

2003 年 4 月 21 日札幌後楽園ホテルにて開催し、49 名が参加しました。

2－1. 年度総会

総会では、昨年度の活動・決算報告、今年度の活動計画・予算案について審議され、すべて原案どおり可決されました。また、今年度は役員改選の年に当り、2003～2004 年度の役員は表－2 のとおりとなりました。



写真－３ 会場の様子



写真－４ 田附講師

表－２ 研究会役員（２００３～２００４年度）

会 長	谷野賢二（水）
副会長	大塚夏彦（総・建） 小柳一利（水）
幹 事	桑原伸司（総・水） 角木修一（水） 杉山盛行（水） 斎藤二郎（水） 豊谷勝雄（総・応） 金子友美（総・水） 田畑真一（水） 若林隆司（建・水） 藤井淳夫（建・水） 鳴海日出人（水）
監 査	古屋温美（建・水）

２－２．講演会

総会に引き続き、㈱水産社 編集委員 田附りかさん（水産庁記者クラブ所属）を講師に招き、「記者からみた水産行政―取材メモより―」と題した講演会を開催しました。田附さんは日本航空の元 CA という職歴を持ち、一味違った新鮮な感覚で水産行政を評価しました。特に幹部の人物評価には意外な面も多く、この紙面にその内容を書けないのが残念です。

３．第１回定例会について

今年度の第１回定例会は、２００１年度のサハリン視察に引き続き、韓国視察を計画しています。

日程は６月３０日～７月４日、主な内容は、

- ① Taejeon 市の KRISO（KRISO＝Korea Research Institute of Ship & Ocean Engineering）の視察
- ② 釜山港の視察

です。

しかし、今年の海外視察については、ASIA で流行している SARS の問題があり、参加申込みの出足が低調なのが気になります。この原稿を書いている時点（５月上旬）では９名しかおらず、SARS の発症や参加人数によっては、中止の可能性もあります。

果たして、この号が発行になる６月３０日に、私は韓国にいるのでしょうか？ それとも……。

（文責：桑原 伸司）